

6-3 西南日本内陸部の地震活動 (1994年7月~12月)

Seismic Activity in the Inner Zone of Southwest Japan(July-December, 1994)

京都大学防災研究所 地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

第1図は1994年7月から12月までの6ヶ月間の西南日本内陸部の地震活動状況を示す。以下各地域の顕著な地震活動は次の通りである。

1. 中部地方北西部の地震活動

第2図は飛騨地方北部および能登半島・富山湾周辺を含む北陸地方北部の地震活動状況を示す。この期間この地域では例年になく地震活動は低く、いくつかある群発活動域の地震活動も静穏である。(1)前年の2月7日に能登半島沖で発生したM6.4の地震の余震活動は依然として継続しているがM3.5以上の余震は7月14日のM3.8, 8月5日のM3.6, 10月1日のM3.7, 10月16日のM3.9, 10月19日のM3.9, および12月25日のM3.7の6個で今年前半とほぼ同じレベルを保っている。富山湾北東部で(2)8月3日にM3.6の地震が発生している。この期間では能登半島沖地震および後述する長野県西部地震の余震以外でM3.5以上の地震はこれだけである。(3)長野県西部地震余震域ではM3.5以上の地震は8月29日のM3.5, 9月1日のM3.7, 9月28日のM3.7, 10月30日のM3.5, 12月31日のM3.5の5個であるが、分布域が従来の余震域より少し南へはみ出しているようである。

第3図は北陸地方南部の地震活動状況を示す。この地域は前年まで地震活動が静穏であったが、1994年にはいって少し活発化してきた。後半になって少し静穏化してきているが前年よりは活発である。M3以上の地震を伴う活動は(1)7月7日に福井県美浜町でM3.2の地震が起きたのを皮切りに7月には(2)12日に滋賀県朽木村でM3.2, (3)17日に岐阜県八幡町でM3.3, (4)30日に石川岐阜県境白山でM3.1の地震が発生している。白山の地震活動は1994年前半に比べて少し活発化してきた傾向が見られる。(5)9月13日には岐阜県養老町でM3.0の地震が発生, (7)10月14日には福井市西部でM3.9の地震が発生している。(8)11月16日には滋賀県新旭町付近の琵琶湖内でM3.1の地震が起きている。(9)さらに11月20日には岐阜県各務原市でM4.1と比較的大きい地震が発生している。深さ35km以上の深発地震は、岐阜県南西部で(6)10月4日のM4.2, 深さ47kmと(10)12月23日のM3.9, 深さ45kmの地震が発生している。

2. 近畿地方中北部の地震活動

第4図この期間中の近畿地方中北部の地震活動状況を示す。この地域では1994年に入り地震活動が活発化してきているが、1994年後半には群発地震を含めて、多数の地震が発生、地震活動が更に活発化してきている。(1)7月5日に京都市北部でM3.2の地震が発生, さらに8月30日にはM3.1, 9月12日にはM3.1の地震が起こっている。(2)7月6日には明石海峡でM3.2の地震が発生している。淡路島周辺では、(12)9月19日に一富町でM3.4, (18)12月1日に明石海峡西でM3.0の地震

が発生している。(3) 7月7日に福井県美浜町でM3.2の地震が起きて以来、1ヶ月余りの間にここから南西方向に地震活動が移動しているように思われる。すなわち、(4) 7月12日に京都府朽木村でM3.2、(5) 7月20日に京都市西北部愛宕山周辺でM3.3、(6) 同日京都府亀岡市周辺でM3.0、(7) 7月27日には兵庫県猪名川町でM3.6、さらに(9) 8月11日には猪名川の少し北、大阪府能勢町でMの地震が発生している。亀岡周辺の地震はこのほかに10月24日にM4.3、11月2日にM3.2、11月13日にM3.1の地震が発生している。猪名川の群発地震は、7月と11月に活発に活動し、7月に4個、11月に10個のM3以上の地震が発生している。能勢町でも11月22日にM3.3の地震が起きている。この南西の線上に並ぶ地震としては(16) 11月16日の滋賀県新旭町周辺の琵琶湖内のM3.1、(17) 11月18日の伊丹市周辺のM3.2の地震が挙げられる。

これらの線上に乗らない地域の活動としては、(8) 7月28日の大阪和歌山県境のM3.2、(3.2) 9月16日および(13) 10月8日の丹後半島周辺のM3.2、M3.4、(3.2) 10月23日兵庫県加美町のM3.0、(19) 12月5日の京都府和知町のM3.1、(20) 12月15日の奈良県橿原市西部のM3.5の地震が挙げられる。

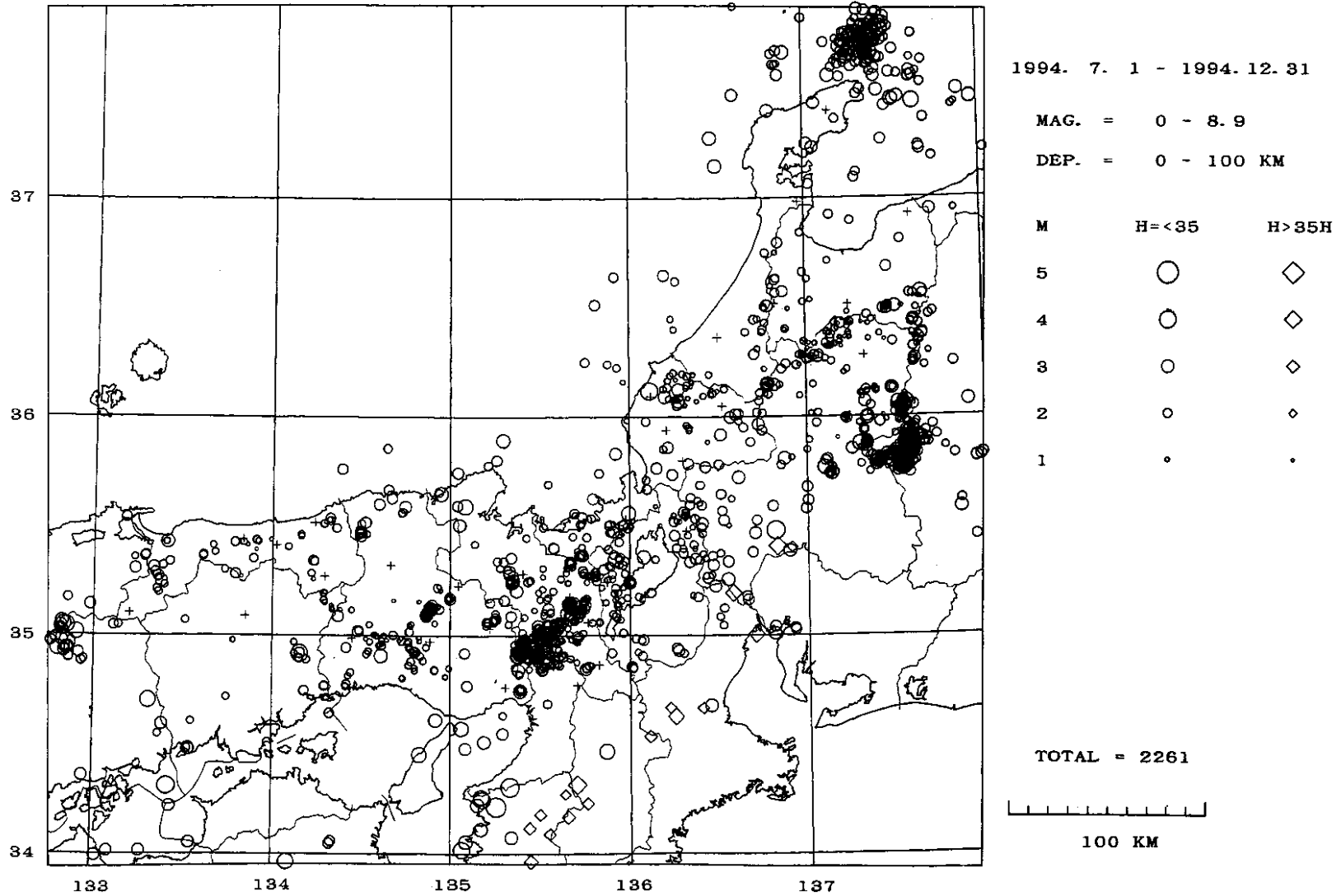
深さ35km以上の地震は、(10) 9月6日三重県名張市西方のM3.2、深さ53.24km、(3.2) 11月18日奈良県五条市周辺のM4.3、深さ75kmが挙げられる。

3. 中国地方東部の地震活動

第5図はこの期間中の中国地方東部の地震活動を示す。この地域では近畿地方北部程ではないが、この期間は1993年および1994年前半よりは地震活動が活発化してきている。主な活動は、(2) 8月6日に山崎断層の分岐断層の護持断層でM3.1の地震が発生している。(3) 9月5日には米子市東部でM3.0が起これ、(4) 9月7日には岡山県英田郡でM3.9と少し大きめの地震が発生している。(5) 9月12日には広島県の東部神石郡でM3.6の地震が発生している。また、(6) 同月16日には京都府久美浜町でM3.2の地震が起き、10月8日には、これより少し南東の郷村断層沿いにM3.4の地震が発生している(9) 広島県北部双三郡では、毎年のように地震活動があるが、1994年前半ではM3以上の地震がなかった。10月12日にM3.4の地震が発生して以来10月中に8個、12月に1個のM3以上の地震が発生している。(10) 10月23日には兵庫県加美でM3.0の地震を中心とした群発活動があった。

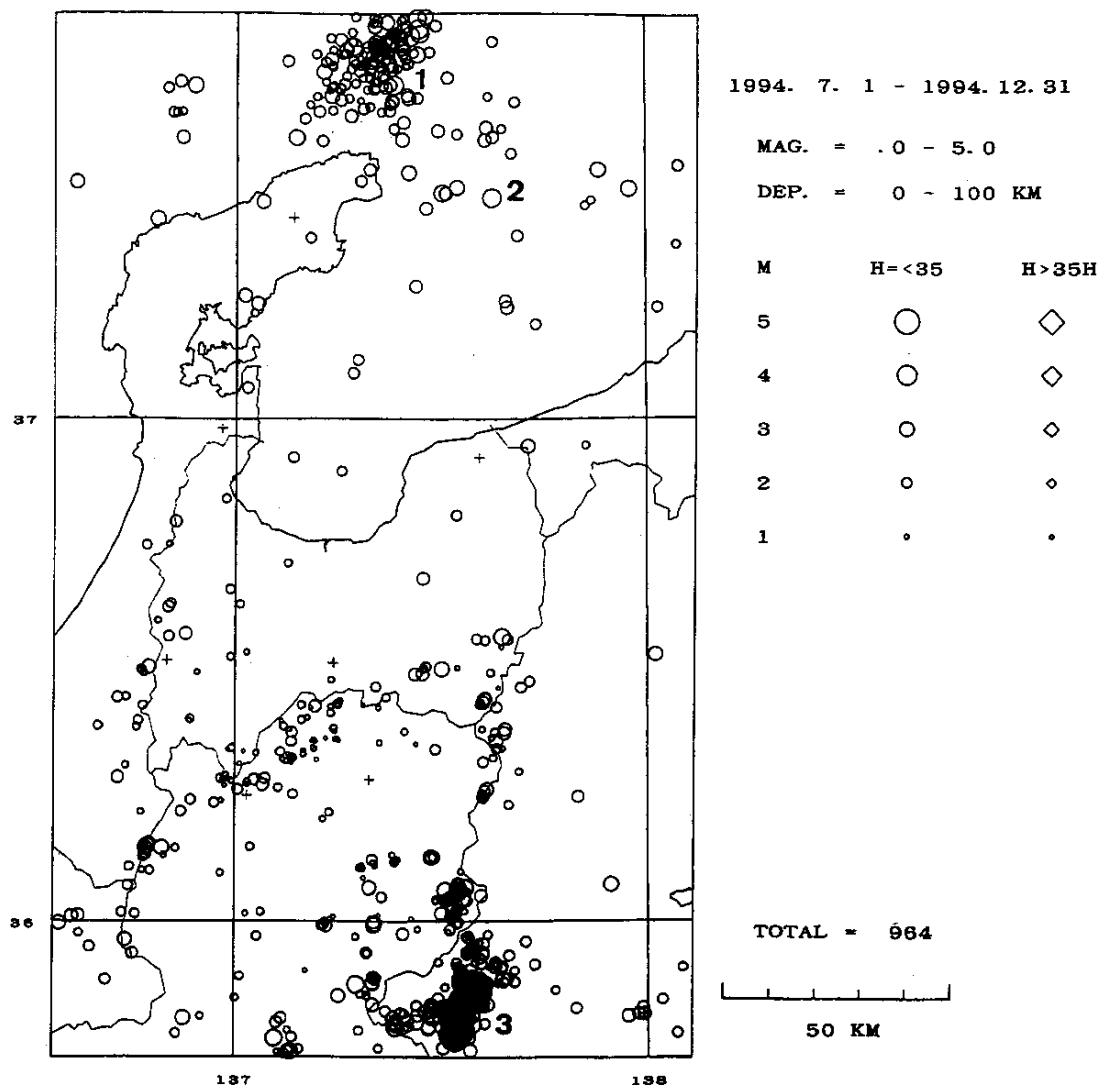
M3以上の地震は伴わないが、湯村地震断層沿いの地震、およびその周辺の鳥取兵庫県境付近の地震が1994年に入って活発化している。

1991年8月28日島根県東部地震の余震域、1989年および1990年の鳥取県西部地震の余震域では、余震活動が継続しているものの、M3.0以上の地震は観測されなかった。



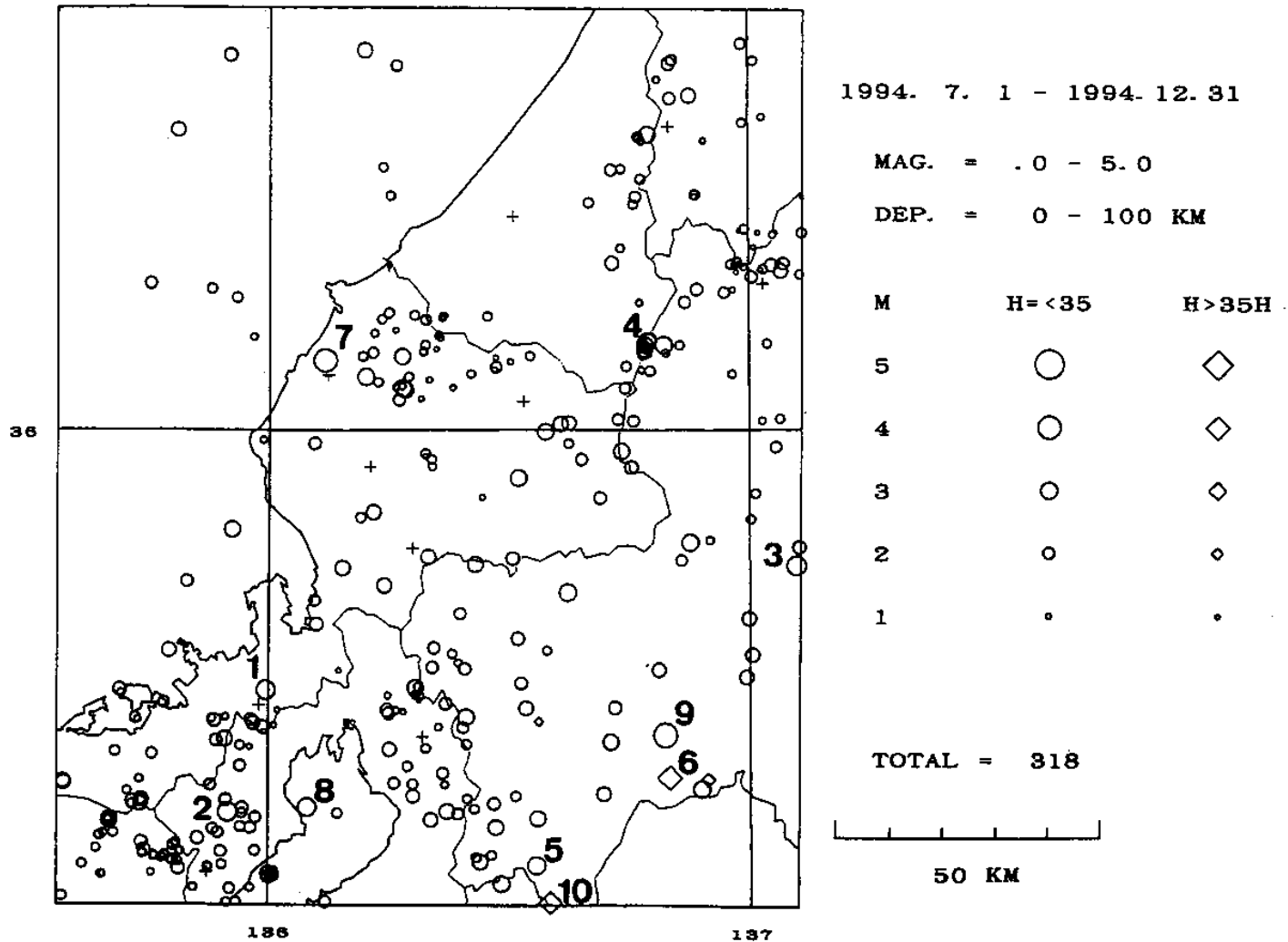
第1図 西南日本内陸部の地震活動 (1994年7月~12月)

Fig.1 Seismicity in the inner zone of Southwest Japan, July-December, 1994.



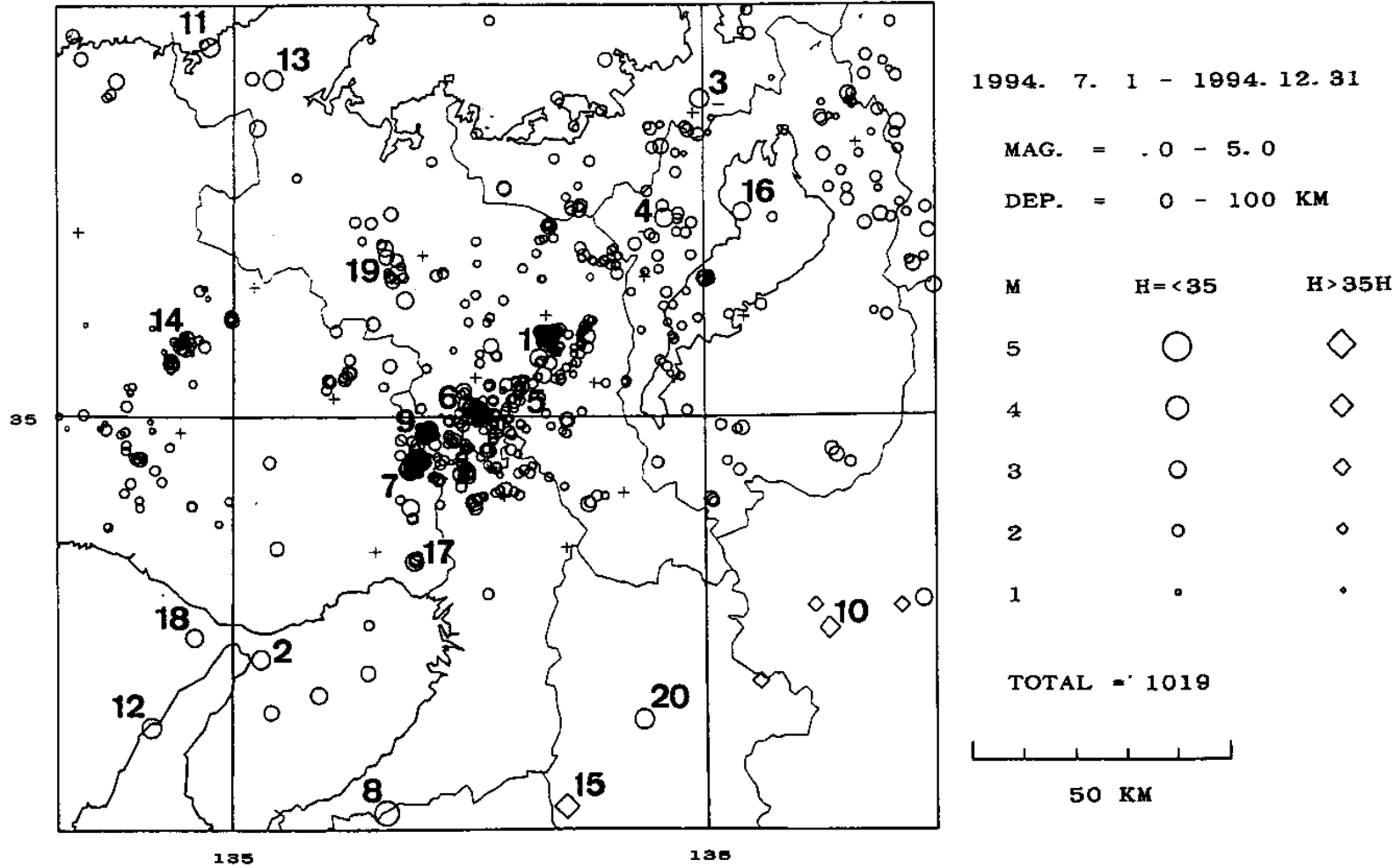
第2図 中部地方北西部の地震活動, (1) 飛騨地方北部および北陸地方北部 (1994年7月~12月)

Fig.2 Seismicity in the northwestern Chubu region, (1) northern Hida and northern Hokuriku region, during the period July-December, 1994.



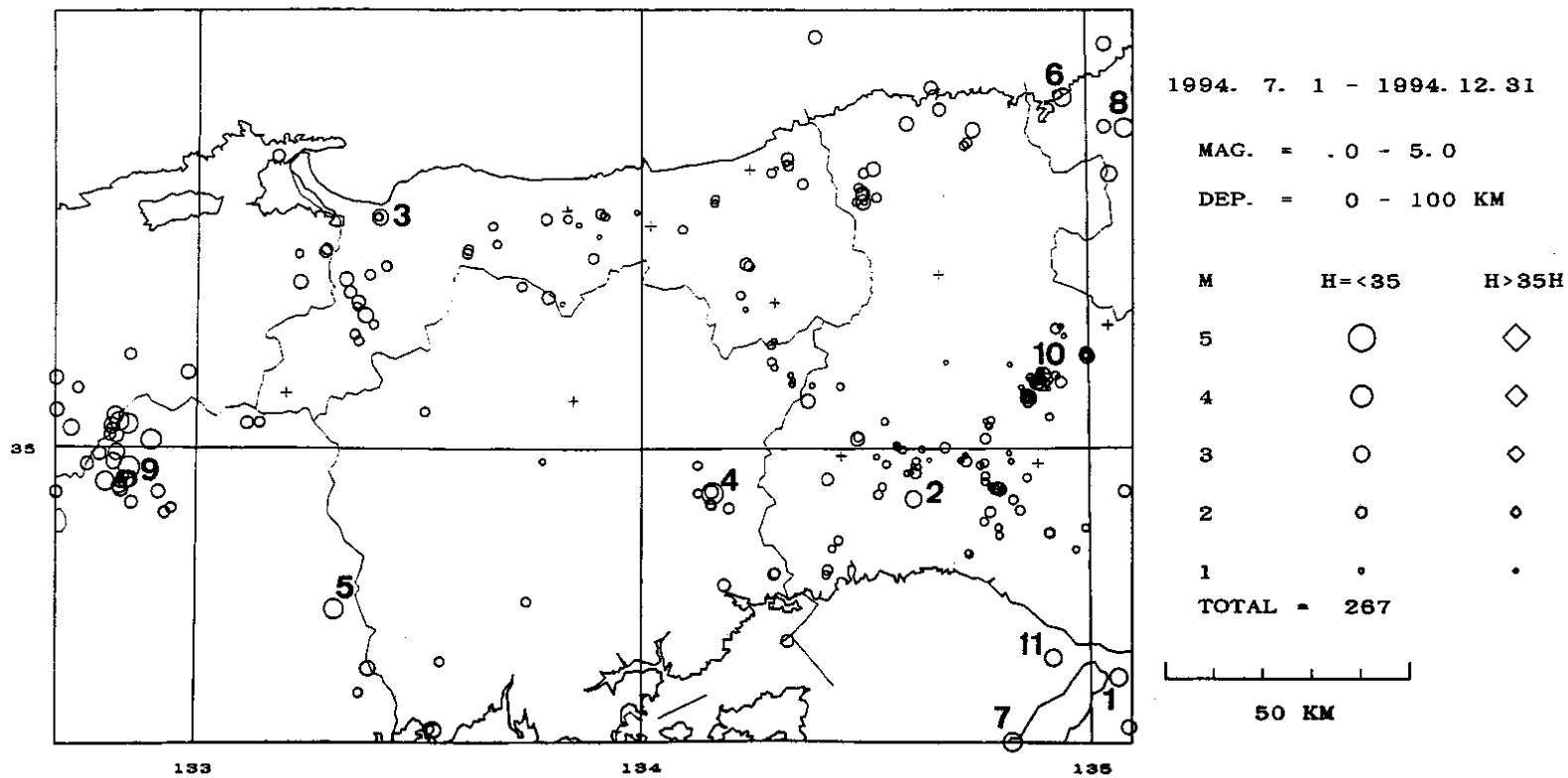
第3図 中部地方北西部の地震活動, (2) 北陸地方南部 (1994年7月~12月)

Fig.3 Seismicity in the northwestern Chubu region, (2)southern Hokuriku region. during the period July-December. 1994.



第4図 近畿地方中北部の地震活動 (1994年7月~12月)

Fig.4 Seismicity in the central and northern Kinki region, during the period July-December, 1994.



第5図 中国地方東部の地震活動（1994年7月～12月）

Fig.5 Seismicity in the eastern Chugoku region, during the period July-December, 1994.